

コロンビア

Republic of Colombia

	2016年	2017年	2018年
①人口：4,983万人（2018年）			
②面積：114万1,748km ²			
③1人当たりGDP：6,684米ドル （2018年）			
④実質GDP成長率（%）	2.1	1.4	2.6
⑤消費者物価上昇率（%）	5.75	4.09	3.18
⑥失業率（%）	9.2	9.4	9.7
⑦貿易収支（100万米ドル）	△11,081	△6,092	△7,106
⑧経常収支（100万米ドル）	△12,008	△10,341	△12,908
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	46,683	47,637	48,401
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	120,397	124,636	132,025
⑪為替レート（1米ドルにつき、 コロンビア・ペソ、期中平均）	3,053.42	2,951.15	2,956.55

〔注〕①③、④の2017年、⑧の2017、18年、⑨、⑩の2016、17年は暫定値。④の2018年、⑩の2018年は推計値。⑦：国際収支ベース（財のみ）〔出所〕①④～⑦：国家統計庁（DANE）、②：アグスティ・コダシ国土地理院（IGAC）、③：IMF、⑧～⑩：コロンビア中央銀行

2018年のコロンビアのGDP成長率は2.6%となり、前年の1.4%を1.2ポイント上回った。国際原油価格の回復や消費者マインドの改善により、内需は拡大傾向にある。2018年8月7日に就任したイバン・ドゥケ大統領は、クリエイティブ産業、農業分野への投資呼び込みに力を入れており、12月に施行された金融法では、これらのセクターに対する税制優遇措置が定められた。また、中南米ではメキシコ、チリに次ぐ3カ国目としてOECDがコロンビアの加盟を承認した。

■消費者マインドが改善し、景気は回復基調

2018年の実質GDP成長率（2.6%増）を需要項目別にみると、GDPの7割を占める民間最終消費支出が3.6%増加し、寄与度は2.5%と経済全体を牽引した。自動車を中心に耐久消費財が3.9%増加した他、非耐久消費財も3.8%増加した。投資（総固定資本形成）もビル建設と設備投資が年後半から回復し、1.3%増と底堅く推移した。一方、輸入の伸びが輸出を大きく上回り、外需（財貨・サービスの輸出・同輸入）の寄与度はマイナスとなった。

実質GDP成長率を産業別にみると、GDPの約17%を占める商業・運輸・ホテル・外食部門が3.3%増加し経済を牽引した。また、科学・技術・専門サービス（構成比約7%）も5.0%成長した。同産業は、ドゥケ政権が推進する、ICTやデータなどを活用した技術革新から、新しいアイデアや付加価値を生み出すクリエイティブ産業等を促進する「オレンジ経済」の主役である。一方、GDP

の約12%を占める製造業は1.8%の伸びにとどまった。加工食品・飲料が3.2%増と好調だったが、製造業の主要産業である石油化学・化学・医薬品（1.6%増）や、金属・機械・電子機器（1.0%増）が低成長にとどまったため。鉱業（構成比約5%）も0.2%減と落ち込んだ。原油・天然ガスは1.6%のプラス成長だったが、金属鉱石部門（11.4%減）や石炭（6.2%減）が大幅に落ち込んだ。

2019年第1四半期の実質GDP成長率は2.8%と好調な滑り出しを見せた。民間消費が4.0%増と引き続き好調だ。産業別にみると、建設（5.6%減）以外のすべての部門でプラス成長となり、金融・保険（5.5%増）、鉱業（5.3%増）、商業（4.0%増）などが特に好調だった。政府は2019年の成長率を3.6%と見通している。

■資源価格の回復により、輸出額が増加

2018年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比10.4%増の418億3,100万ドル、輸入は同11.2%増の512億3,100万ドルだった。貿易収支は94億ドルの赤字となり、2015年以降縮小していた赤字幅は拡大した。

輸出の64.6%を占める伝統産品は270億4,300万ドルで、前年比15.4%増加した。伝統産品を品目別にみると、石油・同派生品が27.3%増の167億5,800万ドル、石炭が0.8%増の74億4,800万ドル、コーヒーが9.8%減の22億6,800万ドル、フェロニッケルが54.9%増の

表1 コロンビアの需要項目別実質GDP成長率

	2017年	2018年				2019年	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
実質GDP成長率	1.4	2.6	2.0	2.9	2.6	2.7	2.8
民間最終消費支出	2.1	3.6	3.5	4.0	3.3	3.6	4.0
政府最終消費支出	3.8	5.6	4.4	6.3	6.1	5.5	2.6
国内総固定資本形成	1.9	1.3	△0.05	0.4	1.8	3.2	2.8
財貨・サービスの輸出	2.5	3.9	△0.6	5.7	4.7	5.7	3.6
財貨・サービスの輸入	1.2	7.9	1.4	7.8	8.3	13.9	13.7

〔注〕2017年は暫定値。2018年、2019年は推計値。四半期の伸び率は前年同期比。〔出所〕国家統計庁（DANE）

表2 コロンビアの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2017年		2018年			2017年		2018年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
農林水産・食品・飲料	7,356	7,301	17.5	△0.7	農林水産物・食品・飲料	6,249	6,908	13.5	10.5
コーヒー、茶、カカオ、香辛料	2,932	2,691	6.4	△8.2	穀物・同調整品	1,641	1,811	3.5	10.4
肉類・野菜類の未加工品	1,475	1,549	3.7	5.0	飼料	758	902	1.8	19.0
豆類・果実	1,174	1,169	2.8	△0.4	鉱物性燃料・非鉄金属など	4,508	4,405	8.6	△2.3
鉱物性燃料・非鉄金属など	21,030	24,710	59.1	17.5	石油・同派生品	3,664	3,359	6.6	△8.3
石油・同派生品	13,162	16,758	40.1	27.3	工業品	35,227	39,869	77.8	13.2
石炭・コークスなど	7,390	7,448	17.8	0.8	自動車	3,972	4,700	9.2	18.3
工業品	7,710	8,324	19.9	8.0	通信機器・映像再生機	3,157	3,654	7.1	15.8
プラスチック原料	876	974	2.3	11.2	医薬品	2,351	2,585	5.0	9.9
鉄鋼製品	492	735	1.8	49.5	一般産業機械・同部品	2,250	2,393	4.7	6.4
自動車	537	644	1.5	19.8	有機化学品	2,023	2,287	4.5	13.0
エッセンシャルオイル・芳香剤など	621	640	1.5	3.1	鉄鋼製品	1,649	2,266	4.4	37.4
電気製品、家電製品	481	470	1.1	△2.3	電気機器・同部品	1,761	2,019	3.9	14.6
衣料・装飾品	426	467	1.1	9.5	プラスチック原料	1,280	1,539	3.0	20.3
化学製品	524	434	1.0	△17.2	繊維・繊維製品	1,232	1,533	3.0	24.4
その他	1,785	1,496	3.6	△16.2	その他の製造品	1,306	1,449	2.8	11.0
金 (マネタリーゴールド除く)	1,767	1,454	3.5	△17.7	特殊産業機械	1,296	1,399	2.7	8.0
合計	37,881	41,831	100.0	10.4	合計 (その他含む)	46,071	51,231	100.0	11.2

〔注〕金額は暫定値。

〔出所〕国家統計庁 (DANE)

表3 コロンビアの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2017年		2018年			2017年		2018年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
北米 (NAFTA)	12,616	13,120	31.4	4.0	北米 (NAFTA)	16,242	17,779	34.7	9.5
米国	10,553	10,616	25.4	0.6	米国	12,014	12,986	25.3	8.1
メキシコ	1,537	1,638	3.9	6.6	メキシコ	3,437	3,947	7.7	14.9
カナダ	526	865	2.1	64.4	カナダ	791	846	1.7	6.9
ALADI (メキシコを除く)	8,301	9,762	23.3	17.6	ALADI (メキシコを除く)	5,619	6,451	12.6	14.8
アンデス共同体	2,759	3,160	7.6	14.5	アンデス共同体	1,731	1,893	3.7	9.3
エクアドル	1,465	1,852	4.4	26.4	エクアドル	715	812	1.6	13.5
ペルー	1,138	1,165	2.8	2.3	ペルー	663	751	1.5	13.3
ボリビア	155	143	0.3	△7.9	ボリビア	353	330	0.6	△6.5
その他 ALADI (メキシコを除く)	5,542	6,602	15.8	19.1	その他 ALADI (メキシコを除く)	3,888	4,558	8.9	17.2
パナマ	2,462	3,070	7.3	24.7	ブラジル	2,286	2,828	5.5	23.7
ブラジル	1,363	1,562	3.7	14.5	アルゼンチン	551	732	1.4	32.8
チリ	1,037	1,190	2.8	14.7	チリ	695	726	1.4	4.4
ベネズエラ	319	354	0.8	10.9	ベネズエラ	220	137	0.3	△37.7
アルゼンチン	266	296	0.7	11.3	ウルグアイ	65	68	0.1	5.5
ウルグアイ	36	54	0.1	49.6	パナマ	51	50	0.1	△2.5
キューバ	38	50	0.1	32.3	パラグアイ	11	14	0.0	20.0
パラグアイ	20	26	0.1	31.9	キューバ	8	2	0.0	△72.1
EU	5,439	4,894	11.7	△10.0	EU	6,855	7,583	14.8	10.6
スペイン	975	1,190	2.8	22.1	ドイツ	1,874	2,173	4.2	16.0
オランダ	1,542	1,035	2.5	△32.9	フランス	948	1,172	2.3	23.5
ドイツ	473	449	1.1	△5.0	スペイン	967	992	1.9	2.5
イタリア	481	442	1.1	△8.1	イタリア	755	827	1.6	9.5
英国	403	421	1.0	4.4	英国	463	526	1.0	13.7
その他	1,565	1,358	3.2	△13.3	その他	1,848	1,894	3.7	2.5
アジア	3,995	6,155	14.7	54.1	アジア	12,237	14,262	27.8	16.5
日本	557	474	1.1	△14.9	日本	1,231	1,289	2.5	4.7
中国	2,211	4,056	9.7	83.4	中国	8,754	10,545	20.6	20.4
韓国	457	627	1.5	37.3	インド	1,042	1,183	2.3	13.6
インド	280	548	1.3	96.0	韓国	792	819	1.6	3.5
合計 (その他含む)	37,881	41,831	100.0	10.4	合計 (その他含む)	46,071	51,231	100.0	11.2

〔注〕①ラテンアメリカ統合連合 (ALADI) は、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、チリ、コロンビア、キューバ、エクアドル、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ、ベネズエラからなる。アンデス共同体は、ボリビア、コロンビア、エクアドル、ペルーからなる。

②金額は暫定値。

〔出所〕国家統計庁 (DANE)

5億5,800万ドルだった。

石油・同派生品は、輸出量は3.0%減だったが、国際資源価格の回復により輸出額は大幅に伸びた。コロンビア石油協会（ACP）によると、2018年のコロンビア産原油の平均輸出価格は1バレル当たり63.0ドルと前年比32.1%上昇した（2016年36.0ドル、2017年47.7ドル）。

一方、コーヒーは、輸出量は前年比0.1%増加したが、国際取引価格の下落にともない輸出額は9.8%減少した。コロンビアコーヒー生産者連合会（FNC）によると、コロンビア産コーヒー豆の2018年の平均国際取引価格は1ポンド当たり1ドル37セントと、前年比10.2%下落した。

非伝統産品を品目別にみると、プラスチック原料（9億7,400万ドル、前年比11.2%増）、自動車（6億4,400万ドル、同19.8%増）が2桁増となった。

主要国・地域別では、最大の仕向け先の米国が106億1,600万ドルで前年比0.6%増だった。次いで、中国（40億5,600万ドル、同83.4%増）、パナマ（30億7,000万ドル、同24.7%増）、エクアドル（18億5,200万ドル、同26.4%増）と主要国への輸出は2桁増となった。米国を除く

これら主要国への輸出が伸びた理由は、鉱物性燃料の輸出額が大幅に増加したことによる。一方、オランダ（32.9%減）や日本（14.9%減）向けの輸出は大幅に減少した。オランダ向けは輸出額の52%を占める燃料が49.2%減と大幅に減少し、日本向けでは輸出額の41%を占めるコーヒー・茶・香辛料が22.6%減、26%を占める燃料が25.4%減とそれぞれ落ち込んだ。

■自動車協定の運用開始で、輸入が大幅増加

2018年の輸入は、前年比11.2%増の512億3,100万ドルだった。輸入全体の77.8%を占める工業品は13.2%増の398億6,900万ドル、13.5%を占める農林水産・食品・飲料は10.5%増の69億800万ドルとなった。

品目別にみると、構成比9.2%で首位の自動車が47億ドルで18.3%増、次いで、通信機器・映像再生器（36億5,400万ドル、15.8%増）、石油・同派生品（33億5,900万ドル、8.3%減）、医薬品（25億8,500万ドル、9.9%増）だった。

主要国・地域別では、構成比25.3%で最大の輸入相手国である米国からは前年比8.1%増の129億8,600万ドルだった。次いで中国（105億4,500万ドル、20.4%増、シェア20.6%）、メキシコ（39億4,700万ドル、14.9%増、同7.7%）、ブラジル（28億2,800万ドル、23.7%増、同5.5%）、ドイツ（21億7,300万ドル、16.0%増、同4.2%）となり、主要国からの輸入は軒並み増加した。アルゼンチンからの輸入も32.8%増と大幅に増加した。

中国からは携帯電話の輸入が31.5%増、メキシコからはテレビ受信機が17.8%増、ブラジルからは自動車が60.2%増、ドイツからは航空機が約2倍となった。ブラジルおよびアルゼンチンとは、2017年12月に発効した経済補完協定第72号（ACE72号）により自動車の無関税枠（2018年は2万5,000台）が設けられ、両国からの自動車

表4 コロンビアのFTA発効・署名・交渉状況

（単位：％）

FTA	発効日	コロンビアの貿易に占める構成比（2018年）		
		往復	輸出	輸入
発効済み				
カリブ共同体（CARICOM） （アンティグア・バーブーダ、バハマ〈諸島〉、バルバドス、ベリーズ、ドミニカ、グレナダ、ガイアナ、ハイチ、ジャマイカ、セントルシア、セントビンセント・グレナディーン、スリナム、トリニダード・トバゴ、モントセラト（英））	1995年1月1日	2.0	4.0	0.2
メキシコ	1995年1月1日	7.6	3.9	10.6
メルコスール （アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ）	2005年2月1日アルゼンチン、 2005年4月19日パラグアイ	6.5	5.5	7.4
アンデス共同体（CAN） （エクアドル、ペルー、ボリビア）	2006年1月1日	5.4	7.6	3.7
チリ	2009年5月8日	2.1	2.8	1.4
中米3カ国 （エルサルバドル、ホンジュラス、グアテマラ）	2009年11月12日グアテマラ 2010年2月1日エルサルバドル 2010年3月27日ホンジュラス	0.7	1.3	0.2
欧州自由貿易連合 （スイス、アイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタイン）	2011年7月1日スイス、リヒテンシュタイン 2014年9月1日ノルウェー 2014年10月1日アイスランド	0.9	0.9	1.0
カナダ	2011年8月15日	1.8	2.1	1.7
ベネズエラ	2012年4月15日	0.5	0.8	0.3
米国	2012年5月15日	25.4	25.4	25.3
欧州連合（EU）	2013年8月1日	13.4	11.7	14.8
太平洋同盟 （メキシコ、ペルー、チリ）	2015年7月20日	11.8	9.5	13.6
韓国	2016年7月15日	1.6	1.5	1.6
コスタリカ	2016年8月1日	0.3	0.6	0.1
合計	—	67.7	67.3	68.0
署名済み				
イスラエル	—	0.6	1.0	0.2
パナマ	—	3.2	7.0	0.1
交渉中				
トルコ	—	2.2	4.0	0.6
日本	—	1.9	1.1	2.5

〔出所〕 商工観光省、国家統計庁（DANE）

輸入が大幅に増加した。2019年は5万台となった。

■ドゥケ大統領が、日本とのEPA早期締結を表明

2018年の通商政策の動向としては、6月11日にウルグアイとの経済補完協定第72号（ACE72号）が発効した。同協定は2017年7月21日にコロンビアとメルコスール間で署名され、ブラジルとアルゼンチンについては2017年12月20日に発効済みだった。

さらに、2018年7月23日にはコロンビアとメルコスールとの間でACE72号の追加議定書が署名された。これは、既存のACE72号にサービス分野の自由化を追加するもので、市場アクセス、内国民待遇、追加的な約束、自然人的移動、約束表の修正、国内規制、資格などの承認、透明性、支払い・資金移転、腐敗対策、特定の約束表、見直し規定、紛争解決などが規定されている。

2018年の貿易全体におけるFTAカバー率は、輸出が67.3%、輸入が68.0%で、往復では67.7%だった。

太平洋同盟は、正式加盟国とシンガポール、オーストラリア、ニュージーランド、カナダとの間の準加盟国交渉が進んでいる。2018年1月末～2月初めに第2回会合、3月上旬に第3回会合を開催し、個別ではなく8カ国まとまった交渉を継続している。また、7月23～24日に開催された首脳会合において、韓国を次の準加盟国候補として歓迎することが表明された。上記4カ国との交渉が終わり次第、速やかに交渉が開始される。さらに、エクアドルが準加盟国候補になることに関心を示しており、交渉を開始するかどうか検討が進められている。

日本とのEPA交渉については、18分野のうち既に16分野で合意に至っている。ドゥケ大統領は、2019年6月に首都ボゴタで開催された日本・コロンビア経済合同委員会に参加した日本企業の前で、早期締結を目指す姿勢を明らかにした。

表5 コロンビアの業種別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>
(単位：100万ドル、%)

	対内直接投資				対外直接投資			
	2017年		2018年		2017年		2018年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
石油	3,106	2,537	22.4	△18.3	309	388	7.6	25.7
鉱業（石炭含む）	960	1,690	14.9	76.1				
製造業	2,532	1,119	9.9	△55.8	1,294	1,074	21.0	△17.0
金融	1,631	1,947	17.1	19.3	741	1,981	38.7	167.3
運輸・倉庫・通信	3,394	1,482	13.1	△56.3	324	594	11.6	83.4
商業・外食・ホテル	824	1,264	11.1	53.4	△10	260	5.1	-
建設	293	669	5.9	128.4	52	77	1.5	48.6
電力・ガス・水道	470	64	0.6	△86.4	921	466	9.1	△49.4
農林水産	238	214	1.9	△10.1	5	9	0.2	75.8
合計（その他含む）	13,836	11,352	100.0	△18.0	3,690	5,122	100.0	38.8

〔注〕金額は推計値。

〔出所〕コロンビア中央銀行

表6 コロンビアの国・地域別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>
(単位：100万ドル、%)

	対内直接投資				対外直接投資			
	2017年		2018年		2017年		2018年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
北米（NAFTA）	4,124	3,791	33.4	△8.1	454	1,399	27.3	207.8
米国	2,172	2,479	21.8	14.1	△72	517	10.1	-
カナダ	231	638	5.6	176.2	53	2	0.0	△96.7
メキシコ	1,721	675	5.9	△60.8	473	880	17.2	85.9
欧州地域	6,184	5,102	44.9	△17.5	871	1,568	30.6	80.0
スペイン	2,612	1,454	12.8	△44.3	19	308	6.0	1,548.9
オランダ	605	228	2.0	△62.3	339	681	13.3	100.6
英国	1,260	1,330	11.7	5.5	113	235	4.6	107.8
スイス	741	928	8.2	25.3	△199	5	-	-
ドイツ	160	146	1.3	△8.8	5	△1	-	-
フランス	242	254	2.2	5.1	△5	△1	-	-
カリブ島しょ地域	1,263	△168	-	-	663	647	12.6	△2.4
バミューダ諸島	△67	△736	-	-	411	85	1.7	△79.2
ケイマン諸島	597	△203	-	-	81	58	1.1	△28.9
バルバドス	348	298	2.6	△14.3	△0	44	-	-
中米	1,481	1,216	10.7	△17.9	903	676	13.2	△25.1
パナマ	1,429	1,176	10.4	△17.7	741	557	10.9	△24.8
南米	574	1,028	9.1	79.2	806	811	15.8	0.7
チリ	220	249	2.2	13.2	309	457	8.9	48.2
エクアドル	58	88	0.8	53.2	10	16	0.3	55.1
ベネズエラ	37	31	0.3	△16.4	△36	△15	-	-
アジア大洋州	158	147	1.3	△7.1	0	0	0.0	158.7
中国	32	32	0.3	0.3	0	0	0.0	306.8
日本	70	68	0.6	△2.6	△0	-	-	-
合計（その他含む）	13,836	11,352	100.0	△18.0	3,690	5,122	100.0	38.8

〔注〕金額は推計値。

〔出所〕コロンビア中央銀行

■建設と鉱業部門への投資が大幅増加

対内直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は前年比18.0%減の113億5,200万ドルだった。産業部門別で最大の投資先は石油分野で、25億3,700万ドル（前年比18.3%減）、次いで金融が19億4,700万ドル（同19.3%増）、鉱業が16億9,000万ドル（76.1%増）、運輸・倉庫・通信が14億8,200万ドル（56.3%減）と続いた。

国別にみると、米国が前年比14.1%増の24億7,900万ドルで最大の投資国となった。以下、スペイン（14億5,400万ドル）、英国（13億3,000万ドル）、パナマ（11億7,600万ドル）と続く。米国からは、ネット通販大手のアマゾンが世界で4拠点目となるカスタマーセンターをボゴタに設立し、600人を雇用する。また、DSTグローバル、セコ

表7 コロンビアの主な対内直接投資案件（2018年）

（単位：ドル）

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
製造業	ヤラ・インターナショナル	ノルウェー	2月20日	2,700万	カルタヘナで肥料を製造
ICT	ベリトラン	アルゼンチン	6月14日	1,000万	ボゴタに金融機関向け技術サービスオペレーションセンター開設を計画
ホテル	アコーホテル	フランス	6月21日	8,800万	ボゴタにIbis Budgetホテルをオープン
ホテル	ハイアットホテル	米国	7月5日	1億2,000万	ボゴタに「Grand Hyatt」ホテルをオープン
農業/製造業	キャノピー・グロース	カナダ	7月5日	1億5,000万	医療用大麻の栽培、抽出、製造
製造業	マペイ	イタリア	7月12日	3,400万	地場企業Broncoを買収し建設用資材を製造・販売
農業	フロリウス	オランダ	7月26日	4億7,800万	ベレイラに花卉集積所を新設。また、バジェ・デル・カウカに花卉農園を開設する計画。
小売	SHVホールディングス	オランダ	8月13日	360万	フンサに「MAKRO」流通センターを新設
病院	アウナ	ペルー	8月20日	3億	大規模医療機関を買収し病院網を構築
製造業	ゼーランドディア	オランダ	8月22日	200万	トカンシバにパン、ケーキ店向け原材料を生産する工場を建設
小売	アマゾン	米国	8月23日	非公表	ボゴタに世界で4拠点目となるカスタマーセンターを設立。
小売	メイソウ	メキシコ	8月27日	1,800万	2018年15店舗、2019年80店舗、2020年には200店舗開設予定。
小売	ソディマック	チリ	8月28日	4,430万	モスケラに「Homecenter」の新店舗をオープン
不動産	PSPインベストメント	カナダ	8月28日	1億3,100万	不動産ファンドに資本参加
ICT	DSTグローバル アンドリーセン・ホロ ウィッツ セコイアキャピタル	米国	9月1日	2億	デリバリーサービスのRAPPIに資金投入しサービスを拡充
外食	オーストラリス・パートナーズ	米国	9月3日	非公表	コーヒーショップ「Tostao」ディスカウント店「Justo&Bueno」を運営するコロンビアReveグループに出資
エネルギー	エネル	イタリア	9月25日	140万	配電網近代化、サービス向上等
小売	アシックス	日本	10月25日	420万	スポーツ用靴販売網を拡充

〔出所〕各紙報道などから作成

表8 コロンビアの主な対外直接投資案件（2018年）

（単位：ドル）

業種	企業名	投資国・地域	時期	投資額	概要
製造業	グーポ・ファミリア	エクアドル	2月3日	3,600万	エクアドルの製紙会社Inpaecsaを買収
製造業	グーポ・ファミリア	ボリビア、ペルー	2月20日	3,800万	ボリビアとペルーのSancelaの株式100%を取得。
製造業	グーポ・ファミリア	ドミニカ共和国	2月20日	1,650万	日用品雑貨大手のコンチネンタル・ビジネスの株式100%を取得。
金融	グーポ・スラ	パナマ	2月26日	4億	パナマのSura Venturesを通して、デジタル技術の開発企業に投資。
エネルギー	イサ	パナマ	8月10日	5億2,000万	送電網の建設・運用プロジェクトに5億2,000万ドルを投資
ホテル	メトロホテル	チリ	7月22日	7,000万	チリ国内に四つのホテルをオープン

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表9 コロンビアの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：1,000ドル、%）

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2017年		2018年			2017年		2018年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
コーヒー、紅茶、スパイス	252,248	195,241	41.2	△22.6	自動車製品、部品	429,214	450,068	34.9	4.9
鉱物性燃料	163,889	122,291	25.8	△25.4	ボイラー、機械および部品	260,921	271,958	21.1	4.2
植物	58,778	56,805	12.0	△3.4	鋳鉄、鉄鋼	231,220	228,045	17.7	△1.4
花卉	56,149	54,133	11.4	△3.6	ゴムおよび同製品	97,269	106,215	8.2	9.2
食用フルーツ	1,774	2,199	0.5	23.9	光学機器および映像記録機器	57,563	59,364	4.6	3.1
鋳鉄、鉄鋼	30,151	53,459	11.3	77.3	鋳鉄製品、鉄鋼製品	13,950	20,132	1.6	44.3
化学品	18,569	18,275	3.9	△1.6	合計（その他含む）	1,231,264	1,288,565	100.0	4.7
食品、飲料、たばこ	19,050	14,108	3.0	△25.9					
真珠、貴石	4,685	6,057	1.3	29.3					
金属および同製品	4,614	2,519	0.5	△45.4					
菓子	1,398	1,796	0.4	28.5					
動物および同製品	1,764	1,516	0.3	△14.1					
魚など	1,385	1,018	0.2	△26.5					
合計（その他含む）	557,359	474,064	100.0	△14.9					

〔出所〕国家統計庁（DANE）

エアキャピタル、アンドリーセン・ホロウィッツが買い物代行アプリのラビに2億ドルを投資した。ラビはこの投資により企業価値が10億ドルを超えるユニコーン企業となった。同社は、2019年4月にはソフトバンクグループから10億ドルの投資を受けることで合意したと明らかにしており、設立後4年足らずで急成長を遂げている。

■金融と運輸・倉庫・通信の投資が拡大

2018年のコロンビア企業の対外直接投資額は51億2,200万ドルで前年比38.8%増だった。産業部門別では、金融が約2.7倍、運輸・倉庫・通信が83.4%増と大幅に増加したほか、農林水産（75.8%増）、建設（48.6%増）、石油および鉱業（石炭含む）（25.7%増）なども投資が拡大した。金融部門では、グルーポ・スラがデジタル技術の開発企業へ投資するため、パナマのスラ・ベンチャーズに4億ドルを投資した。また、製造業ではグルーポ・ファミリアがエクアドル、ボリビア、ペルーなどの関連企業買収に計9,050万ドルを投じ、中南米におけるプレゼンスを高めている。

主要国・地域別では、最大の投資先であるメキシコへの投資は85.9%増の8億8,000万ドルだった。続くオランダが6億8,100万ドルで前年比約2倍、パナマが5億5,700万ドルで24.8%減であったが、米国は2017年の7,200万ドルの引き揚げ超過から5億1,700万ドルへ回復した。また、スペイン（3億800万ドル、約16倍）、英国（2億3,500万

ドル、約2倍）など欧州向けが増加しており、地域全体の伸び率としては80.0%増だった。

■対日輸出では鉄鋼が好調

2018年の対日輸出は前年比14.9%減の4億7,406万ドル、対日輸入は同4.7%増の12億8,856万ドルで、貿易収支は8億1,450万ドルの赤字となった。赤字幅は1億4,884万ドル拡大した。

対日輸出を主要品目別にみると、構成比で41.2%と最大のコーヒー、紅茶、スパイスが1億9,524万ドルで前年比22.6%減となった。次いで25.8%を占める鉱物性燃料も1億2,229万ドルで同25.4%減となった。一方、鑄鉄・鉄鋼は同77.3%増の5,346万ドルとなったほか、真珠、貴石（29.3%増）や菓子（28.5%増）も輸出が拡大した。

対日輸入を主要品目別にみると、工業製品が大半を占める。構成比の高い順に、自動車製品、部品が前年比4.9%増の4億5,007万ドル、ボイラー、機械および部品が4.2%増の2億7,196万ドル、鑄鉄・鉄鋼が1.4%減の2億2,805万ドルと、上位3品目で全体の73.7%となった。

2018年の日本からの直接投資額は前年比2.6%減の6,800万ドルだった。これは、対内直接投資総額のわずか0.6%に過ぎない。2018年12月19日、日本およびコロンビア両政府は租税条約に署名した。これにより、両国の経済関係が一層緊密化し、投資の流れが促進されることが期待される。